

情報連絡員報告総括表(令和7年4月期)
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	
食 料 品	醤油・味噌業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・調達コストの高止まり、継続的な物流問題、人手不足の深刻化等、厳しい状態が続いている。 ・米問題は一過性の問題ではなく、今年の夏頃にも在庫不足感が再燃する可能性が高いと言われており、米価の高騰により、価格転嫁と価格上昇に伴う課題が引き続き経営に影響してくると考えられる。米の大幅な増産が必要であり、味噌原料確保においてもプラスになると考えている。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	・原材料価格の値上がりが続いている。 ・物価高により、消費者は買い控えをしている。
	処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
織 綿 工 業	ニット製造業	↘	→	→	→	↘	→	↘	→	↘	・経済の不透明感から、受注は減少傾向、または先送り傾向にある。 ・商品の製造においては、小ロット化傾向にある。 ・電気料金、人件費、輸送費のアップなどが収益を圧迫している。
	絹人織織物業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・城端産地の織物は内需が主であるが、米国関税政策がこの産地にどのような影響を与えるのか判然とせず、不安がある。
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・仕向先の時期的要因により、3月～4月の受注が停滞しており、先行きは不透明である。
木 材・木 製 品	一般製材業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比で133.0%の大幅増となり、7ヵ月連続の増加となっている。大幅増の要因としては、前年同月は能登半島地震で落ち込みが大きかったこと、地震に伴う再建住宅需要への取り組み、建築基準法改正に伴う駆け込み需要によるものと考えられる。 ・米国関税政策の不確実性によってアメリカがカナダや中国などと関係が悪化することで、木材流通や産地価格、製品価格が不安定になることが考えられる。 ・ロシア材取扱事業者については、ロシア材価格の上昇、ロシア材供給の停滞、従業員の確保などの課題があり、厳しい経営環境にある。特に、ロシア国内情勢による産地の低水準の出材と荷動き、円安からの急激な円高方向へのブレによる仕入れ価格や販売価格の調整に苦戦している。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。

印 刷	印 刷 業	↗ → ↗ → → → → ↘	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降、用紙等の印刷資材の値上げの動きは見られないが、今後の動きについて読めない状況が続いている。 ・国は少額随意契約の基準額の引上げを進めており、地方にもその動きがありそうである。現状を踏まえると、入札案件が減ることになり、県内業者(地元納税業者)への適正な官公需取引に悪影響(他県流出)を及ぼすことが懸念される。
化 学 ・ ゴ ム	医薬品製造業	→ → → → → → → → →	・特になし。
窯業・土石製品	生コンクリート 製 造 業	→ → → → → → → → →	・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比で5.1%の増加となっている。
	コンクリート製品 製 造 業	↘ → ↗ → ↘ → ↘ ↘ ↘	・特になし。
	骨材・石工品等 製 造 業	→ → → → ↘ → → → →	<ul style="list-style-type: none"> ・生コン会社、コンクリート二次製品会社、アスファルト舗装会社との令和7年度骨材納入契約について、値上げを求める組合員もいたが、過去2年連続で値上げをしているため、得意先のことも考慮し、現行価格据え置きで契約は完了している。 ・ある生コン会社より契約書とは別に品質保証契約書の提出を求められた組合員があり、県全体に影響することであるため、契約書の内容を県内各社統一することについて協議している。 ・骨材の需要は、堅調な状況で推移している。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種	業種										
鉄鋼・金属	銑鉄鋳物業	↖	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・生産量はやや回復したものの、米国関税による建設機械や工作機械、自動車用部品への影響は避けられない情勢である。 ・景況感は悪化している。
	銅・同合金鋳物製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↗	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	↗	→	→	・受注、売上ともに全体的に好調な滑り出しである。 ・今年度の新規採用者は、当企業団地全体で昨年度の約半分に留まっている。作業者(直接人員)の他、品質管理など間接人員不足も目立ってきてている。 ・米国関税について、当企業団地は影響が顕著である自動車や半導体産業への依存度が低く、現時点では影響は無さそうであるが、動向を見守っている。 ・一方で、県内的一部大手の建設機械・産業機械製造業やアルミ関連企業の業績が急激に下がっているとの情報があり、今後その影響を注視していく必要がある。
	めっき加工業	↖	→	→	→	↘	→	↘	→	↘	・取引先企業の生産量が減少し、めっきの需要が減っているため、売上の減少傾向が続いている。 ・売上の減少に伴い、収益状況も悪化している。
一般機器	金属工作機械製造業	↗	↗	→	→	↗	→	→	↘	↗	・受注状況及び売上ともに、前年同月と比べて増加している。工作機械が大幅に増加したことが受注増加の要因となっている。 ・設備投資をする企業が増加している。
	金属加工機械製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	非金属用金型製造業	↖	→	↘	→	↘	→	↘	→	↘	・金型の需要が盛り上がる時期だがその気配が見受けられない。世界情勢の混迷からメーカーでの計画の見直しや先送りする余波によるものと思われる。いずれの企業においても先行きに暗雲が立ち込めている状況である。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↖	↗	↗	↗	→	→	↗	→	・自動車部品の受注は顕著に推移している。 ・民生部品は一部で増産がかかり、売上は前年同月比で増加している。 ・電子部品業界全体の市況は、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、新製品開発の動きが少しずつ活発になってきているため、今年度は市場の回復が期待できる。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・クルーズ客船の寄港により、地場産業センターには海外からの来館客が見られ、地場産業の売上に繋がっている。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
卸売業	セメント卸売業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・4月は前年同月比で150%超の売上となっている。 ・今期より、セメントメーカーの値上げ要請に答えなければならず、値上がり分を販売価格に転嫁せざるを得ず、顧客の動向が気になるところである。
	非鉄金属製品卸売業	↓	↗	↗	↘	↓	↓	→	→	↓	・機械鋳物関係、美術鋳物関係の製造、受注が連休前に止まってしまったため、連休後の回復を願っている。
小売業	鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→	→	→	↓	・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業	→	→	→	→	→	↓	→	→	↓	・新しくオープンした激安スーパー周辺の小売店やスーパー等は、多大な影響を受けている。 ・原材料の高値が続いているが販売価格は変わっていないため、収益が悪化している。
	野菜・果実小売業	↓	→	→	→	→	→	→	→	→	・4月の富山卸売市場は、前年同月比で数量88%、単価102%、売上は90%となっている。 ・組合員全体の売上については、前年同月比93%となっている。
	家庭用電気機械器具小売業	↓	↗	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	ガソリンステーション	↓	→	↗	↓	↓	↓	→	→	↓	・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。 ・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。 ・販売価格については、政府による燃料油価格激変緩和対策事業の補助額縮小に伴い大幅に上昇し、高値が続いている。
小売業	農機具小売業	↗	→	↗	↗	↗	→	→	→	↗	・業界の業況は好転しているが、個人農機具店は低迷している。 ・社員を募集しているが応募がない状態が続き、現社員の負担が大きくなっている。
	スポーツ用品小売業	↓	→	↗	↓	↓	↓	→	→	↓	・入学者の減少により、学用品を扱う店舗の売上が減少している。 ・物価高により、購買者は買い上げ点数を減らす傾向にあり、客単価の減少に繋がっている。 ・部活動等に関わるスポーツ用品も同様に、買い控えが起こっている。 ・メーカー製造に関して、消費が鈍いこと、海外での製造価格が高騰していることで、メーカーは生産しない選択をしている。
	ショッピングセンター	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・売上は増加しているが、その大半は販売価格の増加によるものである。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・山岳観光シーズンに入り、商店街は観光客が目立つてきている。特に外国人観光客が飲食店や洋服・宝飾等の買い物回り品店を訪れている。 ・洋服店やサービス店が新規に開店したこと、商店街の賑わいに繋がることを期待している。
	商 店 街	↖	→	→	→	↖	↖	→	→	↖	・物販の売上は前年同月比で少しのマイナスに留まっているが、飲食については、家族連れの売上が大幅にマイナスとなっている。
サ ー ビ ス 業	クリーニング業	↗			↗	→	↗	→	→	↗	・特になし。
	飲 食 業	↗			↗	→	→	→	↗	↗	・売上が前年同月比で7.2%増加している。
	建 築 設 計 業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	自動車整備業	→			→	→	→	→	→	→	・4月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同月比で4ヶ月連続の前年越えとなっている。 ・2025年度は、自動車メーカーの認証試験不正の影響で低迷していた新車販売が回復し、2年ぶりに前年実績を超えると予想される。しかしながら、物価高により個人消費が低迷していることや米国関税の悪影響が市場に出始めていることから、新車販売市場は予断を許さない状況が続くと予想される。「ジャパンモビリティショー」の開催や「貨上げと投資がけん引する成長型経済の実現」という政府の方針が新車販売の追い風になることを期待している。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少していく状況にある。
建 設 業	鉄骨・鉄筋工事業	↖			↖	→	↖	↖	→	↖	・大手鉄骨加工業者については、一部では見積りが増えているものの、大型物件の端境期であり、繁忙感はない。 ・中小鉄骨加工業者については、変わらず仕事量も見積りも少ない。 ・仕事量の確保に翻弄する鉄骨加工業者も散見されるが、建設コストが上昇しており、量から質へと方向転換していくかなければならない。
	一般土木建築工事業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	管工事業	→			→	→	→	→	↖	→	・景況に変化はない。 ・各水道資材が4月から値上げされ、更に10月からの値上げの連絡も入っている。 ・昨年の能登半島地震復旧応援を踏まえて、県内各自治体の技術者不足と会員の減少や各社社員の減少もあり、県内全域での体制作りとなるように見直し構築を図っている。
	電気工事業	→			↗	→	→	→	→	→	・資材高騰分の価格見直しが定着している。 ・公共工事、民間設備投資、住宅着工件数は横ばいだが、建築基準法改正の影響により、工事量は減少傾向の見込みである。
運 輸 業	道 路 貨 物 連 送 業	→			→	→	↖	→	→	→	・軽油価格が前年同月比で9円/ℓ前後値上がりしており、収益の減少、更には、今後の資金繰りにも影響を及ぼすことが懸念される。
	道 路 貨 物 連 送 業	→			→	→	↖	→	→	→	・燃料価格は、前年同月比+9.3円/ℓと収益への影響は大きい。 ・物量は、前年同月比101.5%と微増である。